

【研究概要】

本邦での頸椎人工椎間板使用の安全性を確認するために PMDA の要請で計画された Post-market study である。主導機関は日本脊椎脊髄病学会である。現在までに行ってきた骨移植を併用する頸椎前方椎体固定術の代替法として人工椎間板を設置することで可動性を残した再建が可能である。欧米ではすでに 10 年以上の治療実績があり、その有効性と安全性はすでに確認されている。